

技術認定試験で問う思考の総合力

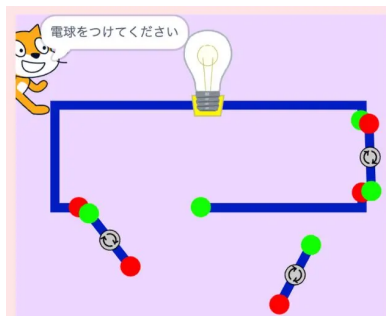


講師が創作する独自の認定試験は銅・銀・金の3段階があり銅から順に受験します。1時間で提示された作品を再現し、機能不足・バグ・わかりにくさによって減点し、80点以上で合格です。銅は変数や条件分岐などの基礎、銀はリストを用いた複数管理、金はクローンなど複数オブジェクトの連携が問われ、いずれも「観察・抽出・管理・表現」の塾が定義する4つの力が試されます。合格者には名前と合格日の銘が打たれたメダルが授与されます。

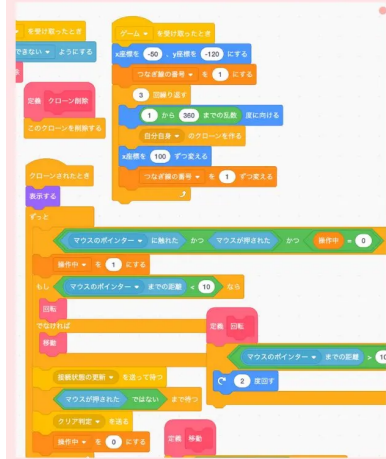


スオウパーティー通信

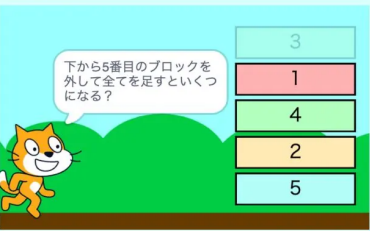
Vol.0008
2025年
4月号



金メダル試験 模範解答ブロック数151



銀メダル試験 模範解答ブロック数168

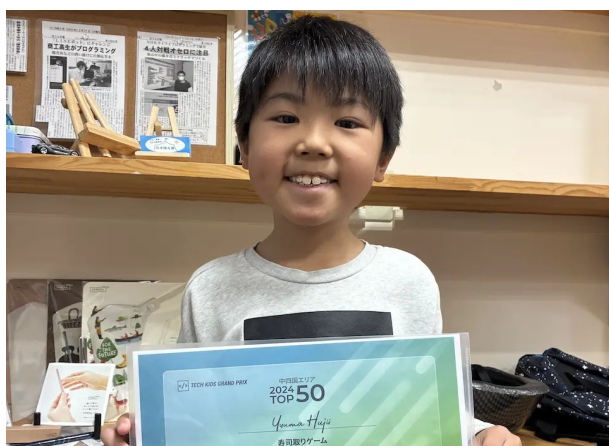


銅メダル試験 模範解答ブロック数143



後記 編集

年度の節目、中学卒業で巣立つ塾生の背中をポンと叩いて見送ったつもりです。いつでも気軽に連絡や相談をして欲しいものです。今年度の入塾生は6期生、出会いが楽しみです。



全国グランプリ 中四国トップ50
昨年度県内コンテストが全国規模のテックキットグランプリの予選会を兼ねており、山口教室のユウマくん（昨年度小学三年）が見事に中四国エリアで入賞して報告に来てくれました。

ケイコ先生が塾に参加します
岩国在住で社会人から幼年まで6人のお子さんを持つパワフルママ。モバイル機器やゲームが大好きで、最近はウェブサイト開発も勉強中。研修期間を経たのち、オンライン中心で塾生のサポートをします。母親のように見守る姿勢を大切にしたいそうです。いずれは現地授業の講師も務めてもらう予定です。

